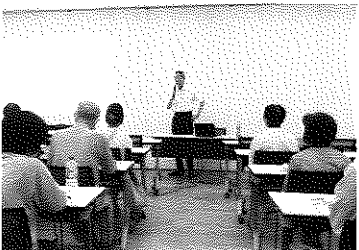


香川県偕行会

会長 大西 邦彦 陸自69

香川県偕行会会長は、令和5年7月23日(日)午後1時30分～3時の間、市民交流センター「マルタス」多目的ホールにおいて「丸亀歩兵第112聯隊の歴史について」講演の機会を持ちました。

講演は、丸亀市立中央図書館の主催に



講演会の様子

よる「郷土にまつわる歴史講座」(協力：明治文庫の会)の一環で開催され、その趣旨は郷土の歴史に関連する講座を開催し生涯学習の場を提供する、というもので昨年度開催の「丸亀歩兵第12聯隊」に引き続き第2回目の講座でした。

講演内容は、第55師団隷下部隊として昭和15年9月歩兵第112聯隊が郷土丸亀に編成、昭和16年11月出征以来昭和20年8月15日大東亜戦争終結までの4年に亘り終始ビルマにおいて激戦敢闘した輝かしい戦歴についてです。

聯隊は、開戦初期ビルマ戡定作戦において終始健闘すると共にアキヤブ第1次作戦及び第2次作戦において戦史の教材として捉えられるほどの戦例を提供しました。第55師団の全戦没者は1万6311名、生還者3948名、生還率19・5%、インパール作戦に参加した3コ師団の生還率25・5%～35・6%に比しても如何に激戦敢闘であったか、改めて認識した次第です。

聴衆は、市民43名の参加でした。昨年引き続き軍隊の歴史に関する講演でしたが、戦場での戦闘を体験した親たちのいなくなった現在、聴衆の中には年配の女性も多数見受けられ戦死した肉親の歴史について「親族の遺した文書がよく理解できなかつたが、今日の講座に参加して初めて理解できました」との感謝の言葉を頂き、歴史講座の機会を持たたこと

に意義があつたと思います。

これを機に、郷土の平和を願ひ護国の霊となられた多くの御霊の上に今日の我が国の発展があることに思いを寄せていただければと念じています。

歩兵第112聯隊の歴史については、HP「丸亀護国神社奉賛会」に追加掲載しています。



【写真】丸亀歩兵第百十二聯隊編成之地
記念碑】